

自由律俳句

おおくさ編集室選

また亡父亡母の干支が仲良く廻つて来た	茶屋 藤原 寿郎
ゆるやかな坂道歩く登も一人下るも一人	神戸上 柴田 篤子
シクラメン褪せゆく一輪我が老を重ね	生山 渡辺 圭子
私には重たい貴男のいなくなった家	茶屋 木山 輝子
私物片付けながら思うこと	茶屋 岸本 治枝
食堂のテーブルに待つ一輪差しの小菊	茶屋 小林 道子
短いような長いような三ツの時代を生きる	生山 弓場 里恵
朝のポットの湯気は働く人の湯気	印賀 久代 幹子
長い日本列島北は吹雪という	茶屋 長谷川由美子
裏口に白菜ごろり人の温もり置いてある	茶屋 木山 操子
注連飾る老人会のやさしさに	神戸上 笹間 玲子
賀状来ぬ友の訃報や日々早し	宮内 田辺登志美
淑気満つ黒豆の色つややかに	宮内 船越 裕子
寒鰯や日中独居の温め汁	矢戸 和田 淑子
久方に息子とすこす三ガ日	豊栄 花倉美佐子
男坂杖をたよりに初詣	宮内 木村萬佐子

俳句

駄句駄句会編集室

短歌

新年を浄めと舞へる初雪は	宝谷 横谷 秀子
令和を彩る道を染めゆく	
村重や数奇をたどる物語	下石見 浅川 三郎
滑の郷に深く分け入る	
新しい令和の御代繁栄し	阿毘縁 木村 民子
みどり豊かな大和麗し	

編集後記

今月のがんばる人では、佐武会の皆さんを取材させていただきました。発足してから60年以上と日南町が誕生する前から存在した会が、この度解散されることになったからです。佐武会は、豊栄村（現：日南町豊栄）出身で、クレパスを開発しサクラクレパスを創業された佐武林蔵さんからの基金寄贈から始まりました。その後、美術品も寄贈され今日までその思いを佐武会の皆さんが繋いでこられました。その佐武会が解散されるのは残念なことだと思います。基金のお金があるので、まだ会を継続させることは可能とのことでしたが、余力のある今解散を決められたのは、町に少しでも貢献したいとの思いもあつてのことだそうです。佐武会に寄贈された美術品は、町美術館へ寄贈となります。展示をされる機会もありますので、その際には是非お越しいただき、豊栄の記念碑とともに佐武林蔵さんや佐武会の思いに触れていただきたいと思います。

新型コロナウイルスによる肺炎の影響で、シアトルへの海外派遣が中止となりました。遠い地の話の様に感じていましたが、しっかりとした予防対策が必要だと思えます。マスクや消毒の不足もありますが、しっかりと手洗いなどの対策をしたいと思えます。

今月も一句

ウイルスを 怖がり過ぎず 手洗いうがい

問 役場企画課 82-11115

「手話教室のお知らせ」

日南町手話サークルでは、手話教室を開催しています。
手話が初心者の方でも安心です。おしゃべりしながら、日常生活の中の簡単な手話表現を学習しています。
手話に興味のある方は、一緒に学習してみませんか？

【お問い合わせ先】

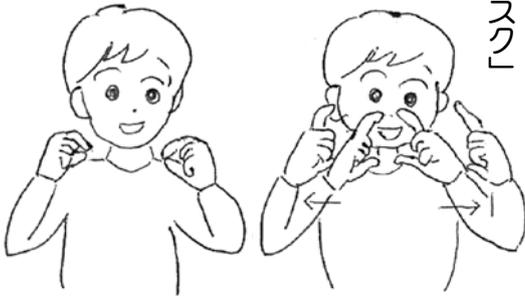
石田由香里（0800-3052-9933）
浅野 博美（0900-9734-1887）

「手洗い」



向かいあわせた両手を体の前でこすりあわせる。
（※手を洗っている様子）

「マスク」



両手の親指と人さし指を合わせ、両手の親指と人さし指を併せる。
両手の親指と人さし指をわん曲させて指先を合わせ口の前におく。そして横に引く。

「手話表現には、色々な表現方法があります。」

